

巻頭コラム

根拠のない自信 田中正人

自信家の共通点

私には「根拠のない自信」を持つ友人が多い。中でも特にそうした自信を持っているように思うのは、海洋冒険家の白石康次郎氏、フリーカメラマンの西川茂樹氏、プロラフティングレーサーの浅野重人氏である。

白石氏は当時、最年少(27歳)でヨットの単独無寄港世界一周を果たした。来年は5-OCEANS(単独世界一周レース)に出場予定だが、費用が約2億円必要らしい。西川氏はムービーカメラマンだが、カメラを持って海中(ダイビング)、空中(パラグライダー)、高山、密林、南極など、興味のある所なら地球上のどこにでも行ってしまふ。浅野氏は日本初のプロラフティングレーサー。一途に夢を追い、プロラフティングチーム・テイケイを結成し、想像を絶する激流に挑戦している。

この3名に共通する事がある。それは、「パワフル」「行動力」「決断力」「前向き」「明るさ」そして何より人から見て「破天荒」でありながら、自分自身に確固とした『自信』を持っている。



日本横断レースに挑み、ゴールをイメージしながら走り続けた(6日間と2時間で最高記録樹立)

イメージができれば自分のもの

彼らと話をしていると非常に面白い。まず彼らはやる遂げる姿が明確にイメージできている。想像力が豊かなのだ。「こんな事したら楽しいだろうな」とか「こんなことをしたいな」と普段から考える。想像なので物事に対する限界を作らないし、発想も柔軟である。そしてこれが自分のものになっているようにみえる。

そういう人の発言は突拍子もないことも多く、周りの人は驚いて否定的だった話に乗ってこなかったりする。しかし同じようなイメージができていいる人とはさらに発展的な話で盛り上がる。

イメージが鮮明で自信に満ちているほど、周りの人も惹きつけ現実化してしまう。それはもの凄いパワーである。

「自信」は経験と環境から生まれてくる

私は「自信」と言う感性は特別な人間に与えられたものではなく、誰にでも持っているものと思っている。この感性は「豊富な経験」と「それを支える環境」から生まれてくると考えている。

スポーツでも何でも世界的に活躍している人は、並大抵ではない自信を持っているはずだ。海外の本場を活動拠点にする人も多いが、世界レベルの環境に身を置くことで今までの常識外の経験を多くすることになり、それが自分の常識に変わっていくのだろう。

レースのトレーニング環境でももちろんだが、それ以上に意識レベルの高い人と多く付き合わなければならないと私はつくづく思うのである。それが自分を次のステージへと引き上げる要因となっている。

「根拠のない自信」は自分自身の価値観

根拠のない自信とは、その人にとっては第六感的なものである。人には理屈で説明できないが、とにかく『できる!』直感のことなのである。一つのことに特化して経験を積み重ねると、感覚が研ぎ澄まされて、物事の道が見えてきたりイメージが鮮明に描けることがある。そうしたことが第六感的な直感につながるのだと思う。どれだけ多くの経験を積極的に積み重ねていくかが重要だと思う。そして、全ての経験は学びとなる。失敗を恐れて積極的な行動を起こさない人もいると思うが、失敗かどうかは本人が決めることである。一度失敗してもそれを糧にして成功するまで続ければ「失敗」という概念は無くなってしまふ。“最終的には必ず成功する”という自信も経験値から得られるものだ。経験から生まれた他人には理解できない自分自身のみが持つ価値観。これが根拠のない自信になるのだろう。

しかしながら、私のようにチーム競技をしていると個人の「根拠のない自信」(=価値観の違い)が弊害になってチームメンバーとトラブルになることも多い。そんな実体験を次回はテーマにしてみようと思う。



世界規模のレースに出場すると自分の力が分かり、世界との距離が計れ、モチベーションが上がる。世界トップの人も所詮同じ人間なのだ。

最新レポート

3月6日 水上高原プリンスホテル・スポーツ雪合戦大会



子供の頃、雪が降ると友達と雪を丸めて当てて楽しんだ。いわゆる「雪合戦」。この雪合戦に公式試合があることをご存知だろうか？しかもかなり本格的。公式審判になるには学科と実技の試験まである。

「雪合戦」に田中正人がお世話になるカップクラブ(総合アウトドアツアー会社)のメンバーと共に臨んだ。チームは外人勢も揃えたスポーツマンばかり。予選は通ったものの、本戦ではエキサイトし過ぎて冷静な判断を失い、大敗してしまった。

優勝したチームはフォーメーションもしっかりできていて、チームワーク抜群！来年は我々もフォーメーションをしっかり組み立て練習をし、万全な体制で挑みたい。

3月12日 伊豆アドベンチャーレース第1回会議

今年も国内最高峰の伊豆アドベンチャーレースがいよいよ始動。花粉舞い散る3月の松崎町(伊豆アドベンチャーレース大会本部所在地)にて、今年初の会議が開催された。レース開催日程は9月16日～19日に決定。

また本レース事前のトレーニングキャンプを今年はKOCCi主導にて5月21日～22日に開催する。

今後レースの詳細は大会ホームページで告知する。
<http://www.izu-adventure.com/> (写真:伊豆アドベンチャーレース2004)



3月20日 富士山雪上トレーニング



国内はもとより、世界中で行なわれるアドベンチャーレースは主催者が安全管理には細心の注意を払って開催している。しかし、相手が自然であるがゆえ、主催者が察知できない事故が起きないとも限らない。選手たちも危機管理は自分でコントロールしなければならない。

チームイーストウインドは白銀の富士山で滑落停止などのトレーニングを実施した。必ずと言っていいほど、毎年どこかの山で滑落事故は発生している。僅かな不注意で滑落してしまうケースは多い。アドベンチャーレースは、雪山が舞台になることも多く、チームにとっては必須のトレーニングである。

4月16日～17日 アドベンチャーレーシングクラブKOCCi リバートレーニングを開催

水上町も雪解けのシーズンを迎え、いよいよ利根川観光スポットのひとつ「ラフティング」が開催される。谷川岳から雪解け水が流れ出し、水温は低いが水量は膨大。4月から6月にかけてのラフティングは、超エキサイトできる。

そこで、イーストウインドプロダクションが企画・運営する「アドベンチャーレーシングクラブKOCCi」で4月中旬にホワイトウォーター(急流)の特別トレーニングを実施する。通常のラフティングツアーはリバーガイドが舵を操作し、お客様に楽しい川下りをご提供するのだが、今回企画したトレーニングは、川の流れの仕組みや危険についてなどを講習し、自分の力でラフトボートを漕ぐ。参加者には自然と向き合い自分の力を試す機会を提供していきたい。



田中正人がアドベンチャーレースを始めて10年目。多くの方にご支援を頂き、心より感謝をしています。田中をご支援くださる方々と久しぶりに酒を酌み交わしながら多彩な方面の談義を竹内がレポートします。

お客様

水上高原プリンスホテル支配人 雲越利雄さん

2月27日に田中を中心で開催した「タブス・ザノースフェイスノーシューレース」の舞台となった水上高原プリンスホテル。谷川岳の麓水上町藤原地区の出身で、自然を尊敬し、自然との共存を知り尽くしているホテルの支配人・雲越利雄さんが、現代人の自然との関わり方について語ってくれた。



水上町の持つ自然は素晴らしい

- 田中 「こちらのご出身ですよね？ご実家は何をされていたんですか？」
- 雲越 「父親は材木を扱っていたんだよ。ここはブナとか桧葉の産地。で、そういった木を切り出した後に、30年後にはいい素材になるって言うんで、杉だとかカラマツだとかを植えたんだよ。それが今の花粉の元凶だね。カラマツも結局は伐採しても赤字になるから、誰も切らなくなっちゃった」
- 田中 「水上町では林業も成立しなくなっちゃったんですね。観光も低迷化していますけど、今後どうなるんでしょう？」
- 雲越 「平成4年をピークにずっと下降しているね。日本の景気をすべて反映してる。だから、どこも何とかしようという意識はある。最近では四万温泉はうまくメディアを利用したりして頑張っている。群馬は＜草津・伊香保・水上の3大温泉＞だったのが、今は四万が入って4大温泉とも言われるようになった」
- 田中 「水上町は自然がありますからね」
- 雲越 「そう。地元では水上町は何もないところだって言うけど、そんな風に思っていたら何もできない。ここにある自然は素晴らしい。これからの季節は最高になる。雪が固くしまっているからスノーシューなしでも、普段靴などで行けない山中にどんどん行ける。山の中を行くとブナの高いところに髭根があって、ブナ林はこの時期にしかアプローチできないし、地面には3メートルもの雪がしまっているの、その髭根に届くんだよ」



- 田中 「子供の頃から自然に親しんでいたんですね」
- 雲越 「早起きして、わざわざ山に登って道なき道をたどって学校まで行ったね。そこで滑って木にぶつかりながら下まで落ちて青アザ作ってたな」
- 田中 「子供が遊ぶには最高ですね」
- 雲越 「でも親には怒られた(笑)この時期は雪が薄くなって沢の在り処が分からないから、危険と隣り合わせだった。でもそうやって遊びながら、ここは近づいたら危ないんだって学んでいったね」

- 田中 「実体験で学んだんですね」
- 雲越 「そう。落ちそうになったらツルに掴まるとか。実は山葡萄のツルが一番強いんだよ」
- 田中 「今の水上町の子供はどうですか？」
- 雲越 「今じゃ親が車で送迎してるから、そんな事はしないだろうな。ウチ帰ってテレビゲームやっているようじゃもったいない気もするね」
- 田中 「水上町でも特に藤原地区は自然と密接に生活している人が多いような気がします。」
- 雲越 「藤原の人は生まれた時から藤原って言う人が多い。近所にはマタギのおじさんもいるよ。俺が高校の頃、おじさんの手伝いで沢で仕留めた熊を尾根に引っ張り上げる作業をしたけど、二度と行かないと思うほど大変だった(笑)」
- 田中 「水上町には鹿もいますよね」
- 雲越 「昔はいなかったんだよ。最近、元来水上町に生息していなかった動物を見かけるようになったね。猿も昔はいなかったのに、今は道路でも見かける。イノシシもいるらしいよ。なんで里に出てきちゃったのかな。自然が豊かになったのか豊かじゃなくなったのか」

自然を知る人が知らない人に教えていく

- 田中 「やっぱり子供の頃は遊びを通して学んでいくような気がしますね。でも今の子供はなかなかそれができない」
- 雲越 「実は俺たちが悪いのかもしれない。子供が小さい時は仕事が忙しくて、そういう所には一切連れていかなかった。今となっては反省材料だね」
- 田中 「人が本当に学ぶ事って、実は自然の中にあるんじゃないでしょうか」
- 雲越 「これは食べられる実だけど、これは食べられないって事も学ぶ。これから山菜の季節だけど、地元の人には自生している場所を知っていて、必要な分だけ取る。でも知らない人は根こそぎもぎ取っていく。そうすると来年生えなくなる。しかも、それが農作物の場合もある。子供の頃から地域のルールや自然と馴染んでいないと、モラルがわからなくなってしまうんだろうか。哀しいことだね」
- 田中 「田舎にいと自然の法則ができてきますね」
- 雲越 「俺たちは自然の中で暮らすから自然を知っている。だから自然を知らない人に伝える事が大切だね」

雲越利雄(くもこしとしお)

1974年プリンスホテル入社。嬬恋高原プリンスや東京本社を経て、現在は水上高原プリンスホテルに勤務。「俺は頑張っている人を応援する」と若者達に熱いエールを送る。

Adventure Racing Club KOCCi

Voice of KOCCi Members



佐藤公男(さとうきみお)

アドベンチャーレースは初心者なのですが、トライアスロンから入って来たので、複数種目×長い距離=大好き！これに泥遊びが加わると、面白さは何倍になるのでしょうか？

ここで、水遊びや雪遊びも知っちゃいましたし...レースの醍醐味って、家や仕事との調整をするところから、もう始まっていると思うのですが、アドベンチャーレースは、その上にメンバー集めも加わりますよね。今年はKOCCiのネットワークで、素敵なメンバーと、本格的なレースに参加したいと思います。



タブスザノースフェイススキーシユトリース
でオフピステを走る佐藤 撮影 柏倉陽介



早川正人(はやかわまさと)「チームColumbia UNITE-X」

アドベンチャーレースとの出会いは1999年の伊豆アドンチャーレースのテストランでのアシスタントに誘われたのがきっかけでした。山登りや川遊び、マウンテンバイク、スキーなど、元々色々なアウトドアスポーツをするのが好きだったので、それらを一度に楽しめるアドベンチャーレースは自分にぴったりのスポーツだったのだと思います。サッカーをしていたので、チーム競技であるところも強く惹かれる理由です。

また、とても贅沢な遊びだと思います。苦労してレースを作ってくれる主催者・スタッフ・スポンサー(特にColumbia!)に感謝です。僕は真剣にレースを楽しむことで恩返しします。

この競技は自分や仲間の安全を確保できることが楽しむ前提にあると思っています。完全な安全は有り得ませんが、十分なトレーニングや準備をしないで自分達の能力を越えた挑戦をすることは、人に迷惑を掛けることになるので、そうならないよう慎重に行動するようになりました。

アドベンチャーレースは、レース中もレース前も、思い通りにいかないことが起こって当たり前。それを仲間と一緒に考えてクリアしていくプロセスを楽しめるとどんな状況も苦しくない(体力的には辛いことばかりですが)。仲間と力と知恵を出し合うと大抵のことは何とかなるものだと思います。

アートスポーツ・OD-BOX コロンビアスポーツウエア ザ・ノースフェイス
サロモン&テラーメイド モントレイル GoLite

KOCCi提携ショップ

KOCCiでは、提携ショップを募集しています！

ショップ名	業種	所在地	KOCCiメンバー
アートスポーツ・OD-BOX全店	スポーツ用品販売店	渋谷、徒町、上野、大阪、京都	5%割引
ヨシキスポーツ	スポーツ用品販売店	千葉県津田沼	5%割引
Happy Ridin'!	バイクウェア・グッズ販売	ネット販売	5%割引
カップCLUB	アウトドアツアー会社	群馬県水上町	各ツアー1,000円引
奥利根カヌースクール	カヌーツアー会社	群馬県水上町	半日コース500円引き 1日コース1,000円引き
西伊豆コースタルカヤックス	シーカヤックスクール会社	伊豆松崎町	消費税引
マウンテンバイクショップ オオタケ	マウンテンバイクショップ	秦野市	メンテナンス作業工賃30%引き(部品代除く)ただしお一人様一回のみ
ジラフ	マウンテンバイクショップ	板橋区	パーツ/工賃定価より10%OFF 但し完成車、フレーム一部商品は除く
海遊荘	民宿	伊豆松崎町	10%割引
ヴィラ扇	民宿	伊豆松崎町	15%割引